

生きる喜びを

Let's create Iwate as a place to live happily.

感じられる岩手に!

いわて
県政
レポート

2023
夏号②

岩手県議会議員

ハクセル 美穂子

MIHOKO
HUXEL

ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ

◎家族/アメリカ人の夫、4人の息子(高2、中3、中2、小5)

◎職業/英会話教室経営

◎趣味/読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり

◎学歴/雫石町立御明神小学校[S62卒]・雫石町立雫石中学校[H2卒]・盛岡第四高等学校[H5卒]・岩手大学農学部[H9卒]

◎経歴/平成9年 雫石町役場入庁

平成17年 夫とともにアメリカへ移る

平成18年 (株)Shady Grove Intl設立 代表取締役就任

平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選

令和元年9月 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区2期目の当選

f ハクセル美穂子
オフィシャルFacebook
<https://www.facebook.com/mihokopage/>



女性だって
できるんだ!

政治へもっと女性が参画することで、 よりしなやかな地域社会が実現します!

岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初の女性県議会議員として当選した8年前、岩手県議会の女性議員は3名から7名に倍増しました。そして、7名の女性議員のうち現役子育て中の女性議員は2名。私は4人、同期で同じく「いわて県民クラブ」に所属していた千葉じゅんこさんは3人の小さい子どもたちを抱えながら議員活動に取り組んできました。初当選当時、私の末っ子と千葉じゅんこさんの末っ子はともにまだ3歳。長丁場の県議会開会中は、小さい子どもたちが急に熱を出したり、けがをしたりと、子どもたちの世話と議会活動との両立に悩みながら、お互いの家庭でのハプニングなどを語り合い、どうしたらより良い子育て環境を岩手につくっていくことができるのかよく議論していたことを思い出します。



8年間、家族みんなで議員活動と家庭の両立に取り組みました。

私たちのことを例に挙げましたが、このように現役子育て世代が議会に携わるようになると、たった今、当事者として悩み取り組んでいるからこそわかる改善点を政策にして議論をすることができます。また同じように、女性議員だからこそ女性を取り巻く困難さを改善する政策にも取り組みやすいのです。

千葉じゅんこさんとの子育て議論をはじめ、様々な方々からいろいろなお話を聞かせていただいたからこそ、裏面にある実績として挙げて

いる政策を実現することができました。政治の原点は、現場での対話であるということ胸に、これからもしっかりと県民の皆さまのお声をお聞きする活動を進めていきます。

これから岩手県は、さらに厳しい少子高齢化に直面します。今よりもさらに、お互いにアイデアを出し合い、助け合い、新しい地域社会の仕組みづくりに挑戦していかなければなりません。様々な異なる視点を組み合わせながら、新しい仕組みを地域にどんどん取り入れていくことこそが、人口減少・少子高齢化の課題に対応するしなやかな地域社会づくりの要であると考えています。

また、しなやかな地域社会づくりは、県と市町村との連携が必要不可欠です。県、市町村の連携がさらに深まるように、知事と市町村長が語り合う場づくりを進め、県と市町村が一体となって子育て支援、産業振興、高齢者福祉などに取り組んでいくための政策を提言していきます。



どうぞ、皆さまのお声を引き続き「ハクセル美穂子」へお寄せください!

よろしくお願いいたします!

いつも2人で真剣議論。
これからも、岩手のために頑張ります!

ハクセル美穂子事務所

〒020-0539 岩手県岩手郡雫石町上町東23-1 Tel.019-909-0158 Fax.019-692-3490

ハクセル美穂子 2期8年のあゆみ

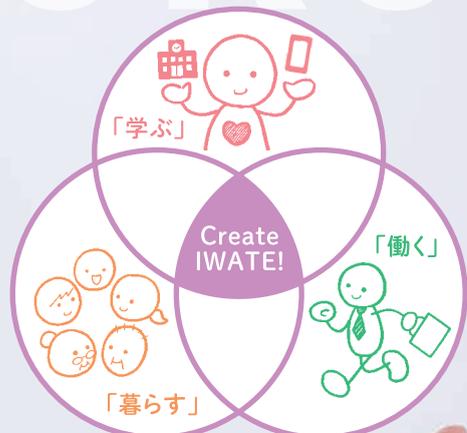
- 実績1 小児予防接種の広域化【岩手県広域接種パスポート】が実現しました。
- 実績2 隣接する市町村の病児保育施設も利用できる仕組みができました。
- 実績3 岩手県庁に県庁内保育施設「うちまる保育園」ができました。
- 実績4 子どもの医療費助成制度が改善されました。
- 実績5 ICT機器を活用した多様な学習機会の確保が進みました。

- 実績6 農産物の高付加価値化に取り組みました。
- 実績7 岩手県産木材利用促進条例を制定しました。
- 実績8 農地の大区画化による農業基盤整備の促進に取り組みました。
- 実績9 市町村要望のあり方が改善されました。
- 実績10 地域の道路環境が改善されました。



MIHOKO HUXEL

ハクセル 美穂子の政策 2023



学ぶ

- ICT等の新技術を活用し、多様な個性を持つ子どもたちへ多様な教育機会をつくります。
- 幼児教育と初等中等教育の連携を図り、子どもたちそれぞれの個性を活かして生きていく力を育む教育を推進します。
- スポーツ・文化・芸術等の本物に触れる経験を積み重ねる教育を推進し、豊かな感性をもつ人材の育成を図ります。
- ILCの誘致実現により、英語・数学・科学への興味を育み、宇宙関連産業等の新産業創出と新産業を担う人材を育成します。

働く

- 一般事業主行動計画の策定を条例化し、県内企業が取り組む働きやすい職場環境づくりに対する支援を拡充します。
- 県内中小企業の販路拡大に対する支援策を拡充し、既存産業の持続的発展を支えます。
- 農業生産基盤を強化し、就農環境の整備を進め新規就農者を確保することにより、持続可能な地域農業の確立を支援します。
- 農産物の6次化による付加価値の向上や輸出支援を進め、農業所得の向上を図ります。
- 粗飼料の生産・流通体制の構築、国産飼料の確保を図り安定した畜産経営環境をつくります。

暮らす

- 高校卒業まで医療費助成制度を拡充し、県内どの地域でも同じく助成が受けられる環境をつくります。
- 少子化対策県民税と第3子以降出産時お祝い制度を創設し、多子世帯が安心して子育てに集中できる環境を整えます。
- サテライト・オフィスを活用した企業誘致を進め、子育て期の期間移住や二拠点居住を促し、交流人口増加を図り、移住定住政策を推進します。
- 地域包括ケアシステムの充実を図り、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けていくための環境整備を促進します。

